

令和4年度新中学1年生保護者説明会資料

1 中学校の再編について

令和6年度に、現在の5中学校を2中学校に再編する

- ◎ 開成中学校と上庄中学校
- ◎ 陽明中学校と尚徳中学校と和泉中学校

校舎（校名、校章等も）は、現在の開成中学校、陽明中学校を利用する

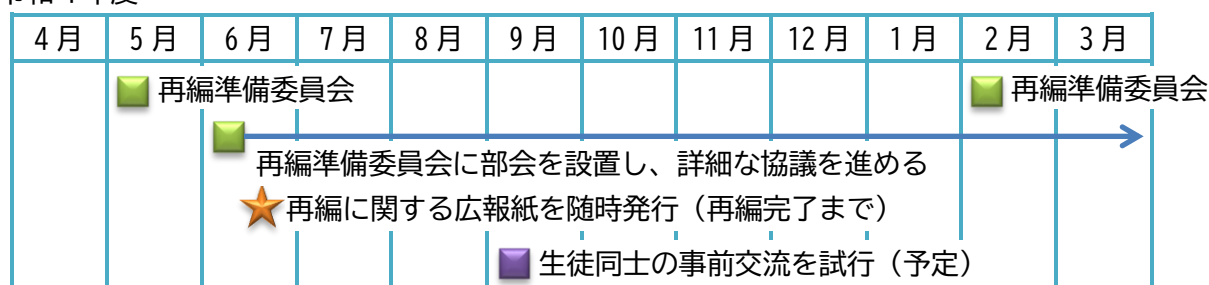
上庄中学校、尚徳中学校、和泉中学校の生徒は、スクールバスを利用して通学する

2 小中学校の再編準備に当たっての基本的な考え方

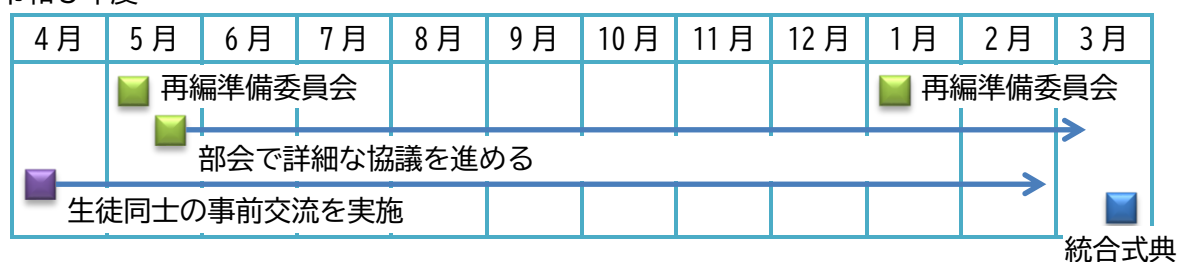
- ① 再編については、新しい学校文化を創造する「新生」の考え方を基本とする。同時に、この機をとらえ市内全校あげて新しい大野市の教育を構築する。
- ② 大きなことは大人が責任をもって決め、細かいことは子どもの意見を十分に尊重する。児童・生徒も積極的に学校生活の準備に参画できるよう配慮し、主体性を育てる絶好の機会とする。
- ③ 各学校の歴史と伝統、文化を大切にすることを常に意識しながら進める。また、児童生徒の事前交流を十分に行い、全員が安心できるよう丁寧に進める。

3 再編までのスケジュール

令和4年度



令和5年度



4 再編準備委員会について

構成等	各中学校のPTA代表、各中学校代表（校長、教頭） 各中学校区の各小学校PTA代表、地域代表、各小学校代表（校長又は教頭）
協議内容	児童生徒の負担軽減（事前交流、通学、部活動）、保護者の負担軽減、PTAの統合、学校運営、統合式典 など
協議方法	再編準備委員会の下部組織として部会を設置して、説明会での意見も含めて課題などを詳細に協議する

5 再編計画（案）説明会での主な意見（再編に向けた課題）

部活動について	再編までの活動、部活動の種類、再編時の活動
事前交流等について	生徒会や部活動の役員選出、再編時の学級編成
スクールバスについて	運行経路などの協議、平日以外の部活動時の運行
学用品等の変更について	購入費の補助、再編前に揃える
学校生活について	緊急時の態勢、リモート授業などの導入

【参考】再編計画（案）説明会での質疑応答（主な内容）

意見	回答
<p>部活動は、再編するまでの間はどのような形になるのか。</p> <p>それぞれの学校にしかない部活は継続されるのか。</p> <p>3年生で再編された時にどのように活動すればよいのか。</p>	<p>部活動の継続については、生徒とも話し合っ て決めていくことも必要である。</p> <p>また、3年生の部活動の問題については、学校や 県の中体連などと早いうちから協議を始めたい。</p>
<p>生徒会や部活動の役員は前の年度に決まるが、再編を見越した選出をしてほしい。</p>	<p>生徒会長・副会長を決める時に、事前交流の中 で生徒会の総会を一緒に開催するというのも一つ の方法である。</p>
<p>小学生が小学校の間に、陽明、尚徳に行く小学生と交流することはできないか。</p>	<p>中学校に上がった時に、少しでも仲間意識が高ま って、違和感なく入学できるというのは大事なこ とだと思う。</p> <p>参考にさせていただいて、十分な交流をしてい きたい。</p>
<p>再編した際のクラス分けはどのようになるのか。</p>	<p>クラス分けについては、学校と相談したい。</p>
<p>スクールバスの運行については、保護者とよく協議して決めてほしい。</p> <p>朝練、土日、祝日等の部活動時にもスクールバスで送迎してほしい。</p>	<p>大野市では令和元年度から朝の練習をやめてお り、朝にバスを出すことはない。</p> <p>土日については慎重に検討しなければいけない と思っている。</p> <p>現在は運行していない。</p>
<p>ケガや病気の時の態勢を整えてほしい。</p>	<p>病気、事故の場合は、まず保護者に連絡をして、 どこの病院へ連れていくとよいかなどを相談し、 養護教諭などが引率して病院へ連れて行き、保 護者と病院で合流して状況説明などを行っている。</p>
<p>学用品は、再編時に揃えるのではなく、あらかじめそろえることができないか。</p> <p>受け入れる学校や再編対象でない学校でも、制服や体操服（生地含む）、ランドセルなどを変更できないか。</p>	<p>両方のPTAや学校との協議になるが、変えなく てもいいのではないか。お互いに話し合い、よ りよい方法を選択してほしい。</p> <p>また、早いうちから協議を始めることも検討 したい。</p>
<p>計画を進める際には、児童生徒の意見も聞いてほしい。</p>	<p>学校をどういう風にしていくと良いかなど学 校生活については、子どもの意見を聞いていき たい。</p> <p>できる限り子どもにも情報を提供しながら進 めていかなければいけない。</p>

意見	回答
<p>リモート授業などの導入は考えているのか。</p>	<p>1人1台のタブレット端末を配備したので、今後は、リモートでの授業も可能になる。</p> <p>一定規模の学習集団を形成し、主体的、対話的で深い学びを行い、これからの時代を生き抜くために必要な能力を備えた大野人を育てたいと考えている。</p> <p>オンライン授業等は大変有効な方策であるが、あくまでも補助的なものと考えている。</p> <p>ただし、緊急の場合や災害時には、いち早くリモート授業に切り替えるなど、柔軟な対応をしっかりと行う。</p>
<p>教育の縦軸、横軸の具体的な取り組みはどのようなものか。</p>	<p>縦軸は、尚徳中学校区の中で、富田小学校と阪谷小学校が一緒になり小中の縦の連携を行っている。教員の話し合いと研修が中心となっているので、まだまだ、小中の連携はできると考えている。</p> <p>横軸は、タブレットなども十分に駆使すると、小学校同士、中学校同士の対応もできる。授業の交流や生徒会の選挙などもオンラインでできる可能性がある。</p>
<p>地域の大人から学ぶことを進めてほしい。</p>	<p>現在の取り組みなども含めて、今後も進めていきたい。</p>